

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 1

平成27年12月の安らぎ通信



炭素繊維の耐震補強材 小松精錬

鉄より軽く強度10倍 4年で実用化

繊維加工の小松精錬は、炭素繊維を使った耐震補強材を事業化します。

数百本の細い棒状の炭素繊維で建物を支えます。炭素繊維は鉄の4分の1の軽さで、10倍以上の強度を持ちます。4年内をめどに実用化します。

日本の建築基準法ではまだ建材として認定されておらず、同社は品質を高めながら4年内の認定を目指します。

(2015年11月14日 日本経済新聞記事から抜粋)



団地の半数以上 建て替え時期に

築25年、国交省推計 3割は旧耐震基準

国土交通省は、全国に住宅団地が約5千団地あり、その5割以上が築25年を経て建て替えを検討する時期に入っていると推計をまとめました。約3割は耐震基準を強めた1981年より前に建てられました。

(2015年11月18日 日本経済新聞記事から抜粋)



家屋倒壊数 1分で推定 地震の人命救助、迅速に

防災科学技術研究所は、大規模地震の発生直後に建物の倒壊数を推定するシステムを試作しました。250m四方ごとに、全半壊した建物の数を最短1分以内で割り出します。3年後の実用化を目指します。15分後に確度の高い情報を流します。

災害救助は72時間以内が目安とされており、より多くの人命を救える可能性が高まります。

(2015年11月23日 日本経済新聞記事から抜粋)

あなたに価値あるホームページを yamachuwood.com

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781